

香川県教育基本計画の変更について

香川県教育委員会

1 現行計画策定年月
令和3年10月（計画期間：5年）

2 変更年月
令和8年3月

3 変更の理由

本県の総合計画、「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画が、令和8年度まで計画期間を1年延長するため、香川県教育基本計画も同計画と整合性をとる必要があることから、令和8年度まで計画期間を1年間延長するとともに、計画に掲げる指標について、状況の変化を踏まえた点検を行った結果、目標の見直しを行うこととし、計画の一部を変更するものである。

4 変更内容

計画期間を1年延長し、6年間とする。併せて、計画に掲げる指標について目標の見直しを行う。

5 今後の動き

次期香川県教育基本計画については、令和8年度中の策定に向け、引き続き、検討を行っていく。

はじめに

3 計画の期間

【変更前】

令和3（2021）年度から、令和7（2025）年度までの5年間とします。

【変更後】

令和3（2021）年度から、令和8（2026）年度までの6年間とします。

第2章 基本理念、重点項目、施策体系

2 重点項目

重点項目5 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
24	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	<u>60%</u>

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
24	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	<u>78%</u>

目標の設定根拠：R5年度実績からR6年度実績の上昇率に基づき目標を設定する。

重点項目7 スポーツの振興

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	<u>65%</u>

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	<u>70%</u>

目標の設定根拠：第3期スポーツ基本計画（R4年度～R8年度）に国全体の目標値として70%が設定されたため、同数値を目指す。

第3章 施策の推進

重点項目1 学力の育成

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
5	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	中学校 75.8% (R元年度)	中学校 80%

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
5	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	中学校 75.8% (R元年度)	中学校 82%

目標の設定根拠：計画策定時同様、毎年1ポイントの上昇を目指す。

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
8	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	24.1%	50%

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
8	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	24.1%	60%

目標の設定根拠：全県立高校（29校）の60%程度の実施率を目指す。

重点項目 5 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
24	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	<u>60%</u>

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
24	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	<u>78%</u>

目標の設定根拠：R5年度実績からR6年度実績の上昇率に基づき目標を設定する。

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
25	県立学校におけるトイレの洋式化の割合	県立中学・高校 60.6% 特別支援学校 81.4%	<u>県立中学・高校</u> <u>65%</u> <u>特別支援学校</u> <u>85%</u>

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
25	県立学校におけるトイレの洋式化の割合	県立中学・高校 60.6% 特別支援学校 81.4%	<u>県立中学・高校</u> <u>68%</u> <u>特別支援学校</u> <u>90%</u>

目標の設定根拠

県立中学・高校：計画期間5か年中で年間平均約1%の整備率であることから、R8年度においても1%の整備を目指す。

特別支援学校：R7年度からR8年度にかけては、大規模なトイレ改修工事を予定していないため、新たな目標としては、次期計画の計画期間の終期（R13年度を想定）の目標を設定する。

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
30	探究発表会（相当以上の発表会）に参加した 県立高校数	14校	<u>19校</u>

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
30	探究発表会（相当以上の発表会）に参加した 県立高校数	14校	<u>21校</u>

目標の設定根拠：計画策定時は毎年度1校程度の増加を目指して目標を設定。一定の実績を達成したため、R6年度実績（20校）より1校増を目指す。

重点項目7 スポーツの振興

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	<u>65%</u>

【変更後】

番号	指標	現状	令和8年度の目標
35	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	<u>70%</u>

目標の設定根拠：第3期スポーツ基本計画（R4年度～R8年度）に国全体の目標値として70%が設定されたため、同数値を目指す。

資料

1 数値目標一覧

【変更前】

番号	指標	現状	令和7年度の目標
1 学力の育成			
1		「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 73.1% 中学校2年生 59.5%
2	①-1	「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 77% 中学校2年生 65%
2	①-1	全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合の全国平均との差	小学校6年生 -1.8pt 中学校3年生 0.0pt (R元年度)
3	①-2	「読書は好きですか」との質問に、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学校6年生 -2.4pt 中学校3年生 -0.6pt
3	①-2	「読書は好きですか」との質問に、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 79.7% 中学校2年生 74.0%
4	①-3	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	小学校5年生 82% 中学校2年生 75%
4	①-3	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	小学校 68.8% 中学校 59.2% 高校 85.4% 特別支援学校 70.5% (R元年度)
5	①-4	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	小学校 100% 中学校 100% 高校 100% 特別支援学校 100%
5	①-4	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	中学校 75.8% (R元年度)
6	①-5	幼小の円滑な接続に向け、接続期のカリキュラムを検討する研修会に参加した幼稚園の割合	中学校 80%
6	①-5	幼小の円滑な接続に向け、接続期のカリキュラムを検討する研修会に参加した幼稚園の割合	20.5%
7	①-6	通常の学級に在籍する、障害のある児童生徒などのうち、特別な支援を必要とする児童生徒※の中で、「個別の指導計画」が作成されている割合 ※通級による指導対象者を除く	小学校 60% 中学校 50%
7	①-6	通常の学級に在籍する、障害のある児童生徒などのうち、特別な支援を必要とする児童生徒※の中で、「個別の指導計画」が作成されている割合 ※通級による指導対象者を除く	小学校 37.3% 中学校 11.0%
8	①-7	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	24.1%
8	①-7	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	50%
2 心の育成			
9	①-1	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 77.2% 中学校2年生 76.1%
9	①-1	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	現状を上回る水準
10	①-2	「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に、「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 72% 中学校2年生 67%
10	①-2	「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に、「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.2% 中学校2年生 66.4%
11	①-3	「本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」との質問に、月に1～3回以上と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 76% 中学校2年生 38%
11	①-3	「本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」との質問に、月に1～3回以上と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.9% 中学校2年生 33.1%
12	①-4	人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	50.8%
12	①-4	人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	100%
13	②-1	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 86.9% 中学校2年生 82.5%
13	②-1	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	現状を上回る水準
14	②-2	「学校に行くのは楽しいと思う。」に「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 83.0% 中学校2年生 82.3%
14	②-2	「学校に行くのは楽しいと思う。」に「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 80.3% 中学校2年生 76.5%
15	②-3	「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか」との質問に、「守っている」または「どちらかといえば守っている」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 75% 中学校2年生 66%
15	②-3	「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか」との質問に、「守っている」または「どちらかといえば守っている」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 72.5% 中学校2年生 60.6%

番号		指標	現状	令和7年度の目標
3 体の育成				
16	①-1	全国体力・運動能力調査の体力合計得点の全国順位の平均	27位 (R元年度)	20位以内
17	①-2	肥満傾向児童生徒の出現率の平均(各校種の出現率5年間平均)	小学校 7.76% 中学校 9.27% 高校 10.11% (H28~R2年度の平均)	現状からの減少
18	①-3	栄養教諭・学校栄養職員による教科等における食に関する指導を行っている割合	小学校 96.0% 中学校 79.1%	小学校 100% 中学校 100%
4 郷土を愛し、郷土を支える人材の育成				
19	①-1	「今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。」との質問に、「ある」または「どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 66.4% 中学校2年生 44.3%	小学校5年生 68.7% 中学校2年生 53.2%
20	①-2	外部の関係機関から講師を招へいして主権者教育や消費者教育、金融教育等の取組みを行っている県立高校の割合	62.1%	100%
21	①-3	「総合的な探究の時間」や「課題研究」の授業などで、地元の自治体や大学、企業等と連携した取組みを行っている県立高校の割合	79.3%	100%
22	②-1	生徒が英語を用いた言語活動を、授業の半分以上において行っている公立高校の教員の割合	69.3% (R元年度)	80%
23	②-2	課題解決型学習の推進に向けての校内研修を実施している県立高校の割合	34.5%	100%
5 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり				
24	①-1	学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	60%
25	①-2	県立学校におけるトイレの洋式化の割合	県立中学・高校 60.6% 特別支援学校 81.4%	県立中学・高校 65% 特別支援学校 85%
26	①-3	経済的な理由で修学が困難な生徒等に対する奨学金の貸与	—	着実な実施
27	②-1	「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合【再掲】	小学校5年生 73.1% 中学校2年生 59.5%	小学校5年生 77% 中学校2年生 65%
28	②-2	県立学校教職員の年次休暇の年間取得日数	9.1日	15日以上
29	③-1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	小学校 78.6% 中学校 63.2% (R元年度)	小学校 83% 中学校 68%
30	③-2	探究発表会(相当以上の発表会)に参加した県立高校数	14校	19校
6 家庭や地域での学びの環境づくり				
31	①-1	保護者学習会への「さぬきっ子安全安心ネットワーク指導員」の派遣数(年度)	25回	75回
32	①-2	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合【再掲】	小学校 78.6% 中学校 63.2% (R元年度)	小学校 83% 中学校 68%
33	②-1	親子読み聞かせ教室に参加した保護者の割合	61.2%	76%

番号		指標	現状	令和7年度の目標
34	②-2	県立図書館の利用者数	463,054人 (H29～R元年度の平均)	480,000人
7 スポーツの振興				
35	①-1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	<u>65%</u>
36	②-1	オリンピック大会に出場した本県関係の選手数	2人 (過去5大会の平均)	3人 (R6年度)
37		国民体育大会男女総合成績	31位 (H27～R元年度の平均)	20位台

【変更後】

番号		指標	現状	令和8年度の目標
1 学力の育成				
1	①-1	「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 73.1% 中学校2年生 59.5%	小学校5年生 77% 中学校2年生 65%
2		全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合の全国平均との差	小学校6年生 -1.8pt 中学校3年生 0.0pt (R元年度)	小学校6年生 -2.4pt 中学校3年生 -0.6pt
3	①-2	「読書は好きですか」との質問に、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 79.7% 中学校2年生 74.0%	小学校5年生 82% 中学校2年生 75%
4	①-3	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	小学校 68.8% 中学校 59.2% 高校 85.4% 特別支援学校 70.5% (R元年度)	小学校 100% 中学校 100% 高校 100% 特別支援学校 100%
5	①-4	「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」との質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	中学校 75.8% (R元年度)	<u>中学校 82%</u>
6	①-5	幼小の円滑な接続に向け、接続期のカリキュラムを検討する研修会に参加した幼稚園の割合	20.5%	80%
7	①-6	通常の学級に在籍する、障害のある児童生徒などのうち、特別な支援を必要とする児童生徒※の中で、「個別の指導計画」が作成されている割合 ※通級による指導対象者を除く	小学校 37.3% 中学校 11.0%	小学校 60% 中学校 50%
8	①-7	異校種の児童生徒を対象とした交流事業を行っている県立高校の割合	24.1%	<u>60%</u>
2 心の育成				
9	①-1	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 77.2% 中学校2年生 76.1%	現状を上回る水準
10	①-2	「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に、「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.2% 中学校2年生 66.4%	小学校5年生 72% 中学校2年生 67%
11	①-3	「本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」との質問に、月に1～3回以上と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.9% 中学校2年生 33.1%	小学校5年生 76% 中学校2年生 38%
12	①-4	人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	50.8%	100%
13	②-1	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、「思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 86.9% 中学校2年生 82.5%	現状を上回る水準

番号	指標	現状	令和8年度の目標
14	②-2 「学校に行くのは楽しいと思う。」に「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 80.3% 中学校2年生 76.5%	小学校5年生 83.0% 中学校2年生 82.3%
15	②-3 「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか」との質問に、「守っている」または「どちらかといえば守っている」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 72.5% 中学校2年生 60.6%	小学校5年生 75% 中学校2年生 66%
3 体の育成			
16	①-1 全国体力・運動能力調査の体力合計得点の全国順位の平均	27位 (R元年度)	20位以内
17	①-2 肥満傾向児童生徒の出現率の平均(各校種の出現率5年間平均)	小学校 7.76% 中学校 9.27% 高校 10.11% (H28～R2年度の平均)	現状からの減少
18	①-3 栄養教諭・学校栄養職員による教科等における食に関する指導を行っている割合	小学校 96.0% 中学校 79.1%	小学校 100% 中学校 100%
4 郷土を愛し、郷土を支える人材の育成			
19	①-1 「今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。」との質問に、「ある」または「どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 66.4% 中学校2年生 44.3%	小学校5年生 68.7% 中学校2年生 53.2%
20	①-2 外部の関係機関から講師を招へいして主権者教育や消費者教育、金融教育等の取組みを行っている県立高校の割合	62.1%	100%
21	①-3 「総合的な探究の時間」や「課題研究」の授業などで、地域の自治体や大学、企業等と連携した取組みを行っている県立高校の割合	79.3%	100%
22	②-1 生徒が英語を用いた言語活動を、授業の半分以上において行っている公立高校の教員の割合	69.3% (R元年度)	80%
23	②-2 課題解決型学習の推進に向けての校内研修を実施している県立高校の割合	34.5%	100%
5 安全・安心で、魅力あふれる学校づくり			
24	①-1 学校安全に関する外部の専門家や学校教育の専門家との連携を図るなど、学校安全計画や避難訓練等を外部有識者がチェック・助言する体制が整備されている学校の割合	41.6% (H30年度)	78%
25	①-2 県立学校におけるトイレの洋式化の割合	県立中学・高校 60.6% 特別支援学校 81.4%	県立中学・高校 68% 特別支援学校 90%
26	①-3 経済的な理由で修学が困難な生徒等に対する奨学金の貸与	—	着実な実施
27	②-1 「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と回答した児童生徒の割合 【再掲】	小学校5年生 73.1% 中学校2年生 59.5%	小学校5年生 77% 中学校2年生 65%
28	②-2 県立学校教職員の年次休暇の年間取得日数	9.1日	15日以上
29	③-1 「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	小学校 78.6% 中学校 63.2% (R元年度)	小学校 83% 中学校 68%
30	③-2 探究発表会(相当以上の発表会)に参加した県立高校数	14校	21校
6 家庭や地域での学びの環境づくり			
31	①-1 保護者学習会への「さぬきっ子安全安心ネット指導員」の派遣数(年度)	25回	75回

番号		指標	現状	令和8年度の目標
32	①-2	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合 【再掲】	小学校 78.6% 中学校 63.2% (R元年度)	小学校 83% 中学校 68%
33	②-1	親子読み聞かせ教室に参加した保護者の割合	61.2%	76%
34	②-2	県立図書館の利用者数	463,054人 (H29～R元年度の平均)	480,000人
7	スポーツの振興			
35	①-1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.9% (R元年度)	<u>70%</u>
36	②-1	オリンピック大会に出場した本県関係の選手数	2人 (過去5大会の平均)	3人 (R6年度)
37		国民体育大会男女総合成績	31位 (H27～R元年度の平均)	20位台